

ペタンク快進撃!

アベック優勝飾る

第20回鳥取県ペタンク選手

権大会兼第28回日本ペタンク選手権大会鳥取県予選が、7月7日(日)、大山町中山多目的運動公園で行われました。

大会には男子トリプルスに13チーム、女子トリプルスに10チームが参加し、全国大会を目指して熱戦を展開しまし

た。

男子トリプルスでは、名和カローン(仲川操、米井富美夫、岡本收)が、女子トリプルスは名和カローンT(法橋登志子、仲川照美、吉岡浩子)がそれぞれ制し、全国大会への切符を手に入れました。

両チームの全国大会での活躍を期待します。



▶アベック優勝の名和カローンのみなさん

▶「水をかけましょうか?」
選手に声をかけるボランティア



トライアスロンボランティア 選手の熱闘を支える

7月14日(日)、第33回全日本トライアスロン皆生大会が行われました。バイク(自転車)コースとなっている大山町は、走行コースのポイント誘導やエイドステーションで、ボランティアスタッフが参加選手の熱闘を支えました。

エイドステーションとなっている中山農業者トレーニングセンターでは、大人に混じって、小学生、中学生、高校生のボランティアが大活躍。エイドステーションに次々とやってくる選手たちに水をかけたり、飲み物を手渡したりしていました。

第61回全国ナシ研究大会

鳥取県大会

7月18日(木)・19日(金)

の両日、米子市、大山町、南部町、北栄町を会場に、第61回全国ナシ研究大会鳥取県大会が、「ナシで生き抜く成長戦略」をテーマに開かれました。

初日の18日は、米子コンベンションセンターで、基調講演、事例発表等があり、大山

果実部指導部長の片桐肇さんが「大山果実部の三本の矢『二十世紀』『新甘泉』『王秋』」と題して、大山果実部の取り組みを発表されました。

2日目の19日は、先進果樹園の視察が行われ、大山果実部長の米澤誠一さんの果樹園(大山町加茂栃原)に、県外の梨関係者約400人が訪れました。この果樹園は、新品種の新甘泉、秋栄、王秋等が網掛け栽培されています。

参加者は、園主の米澤さんをはじめ大山果実部のみなさんから、栽培管理の方法について説明を受けていました。



▶挨拶をする米澤さん(左)



▶米澤さんの果樹園を視察